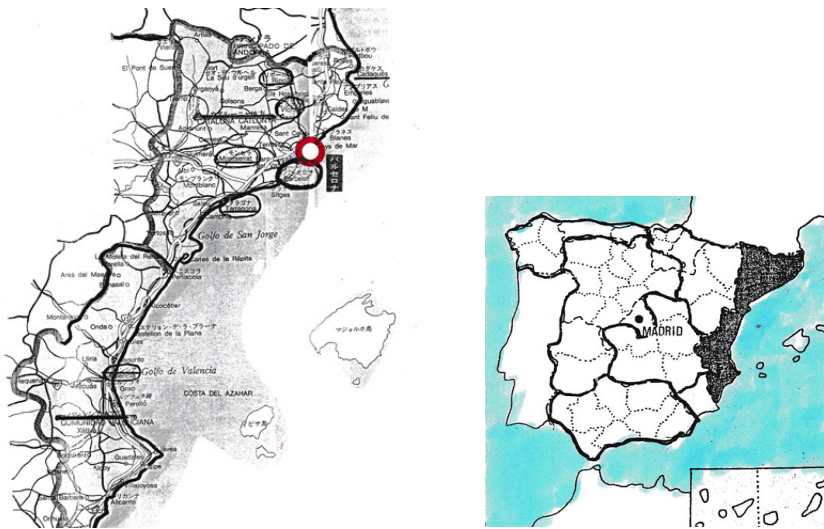


迎古夢旅 4570 : スペイン・バルセロナにて① P109



イベリア半島を楽しむ、旅の仕方としては、いろいろ方法がある。
歴史と伝統、建築物や歴史遺産。詳細に彫刻物などを見ると、私には面白い線や構図の発見。
国や人によって、歴史があって、いろいろだが、面白い。
上記は、ご存知の人は、即座に、言い当てられるだろう。私は画像記録。
帰国後、落ちついて見ると、再発見がある。

市内だけでなく、バルセロナ周辺には魅力ある所が、いろいろある。
モンセラや、フランス国境沿いの、黄金海岸コスタ・ドラダ（荒々しい海岸）と呼ぶらしい。
中心地は、中世の香りが残る、落ちついた町・ジロナ。**ダリの故郷**でもある。
コスタ・プラバ地方は、ピレネー山脈を境にフランスが、控えているので、フランス風の
料理などもある。降り注ぐ太陽の光と地中海の青い海、
オレンジの産地、目移りするほど、色彩を楽しめる。アンダルシアとも違う。



最初から、答えを出してしまうと、楽しくない。
先のことはわからない。コロナ後のことも。夢は探すのではなく、夢は創るもの。
今ある環境と状況を、素直に見つめ、変身の戦略を立て、実践する時。
将来、旅する機会ができれば、この地も、なかなかのもの。これは、勝手な、私の私見。
話の道草から、元に戻して、レンズを通して、ひと時を楽しんだ。
この作品は、バルセロナでの出会いの画像記録。